

受 託 事 業

I 歴史関連事業及び歴史関連施設の管理運営の受託

1 本館管理運営

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

2 たてもの園管理運営

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

3 館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊にし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館(本館)では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園(分館)では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館259名、分館194名体制により、本館では8,119件のガイド、分館では、茅葺き農家の燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数(平成18年3月31日現在)

259名(女性179名、男性79名)

② 活動日時

火曜日～日曜日(開館日) 10:00～16:00

毎日15人程度のグループで活動

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語、ロシア語

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップの運営

④ 対応件数(平成17年4月～18年3月)

外国語による案内件数 3,289件

・日本語による案内件数 4,681件

・団体事前案内件数 64件

・下見(実踏)の案内件数 4件

・子ども相談対応 16件

・スポット解説 65件

(2) たてもの園ボランティア

① 登録人数（平成18年3月31日現在）

○正規ボランティア「ひじろ会」 194名（女性72名、男性122名）
火曜日班33名、水曜日班34名、木曜日班32名、金曜日班31名、
土曜日班32名、日曜日班32名

○臨時ボランティア 118名

② 活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 10:00～17:00

（10月から3月は午後4時まで）

③ 活動内容

○正規ボランティア

- ・茅葺き農家の燻煙と周辺整備…4棟（吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、綱島家）
- ・案内ガイド（団体・見所案内・たてもの別・定時）
- ・たてもの園事業への参画（催事の企画・実施、学校連携事業、年中行事等）
- ・自主活動の実施（写真館での撮影、藁細工、風車作り、紙芝居、盆栽、農園作業等）

○臨時ボランティア

- ・催事の支援
- ・正規ボランティアの活動支援

④ 対応件数等

- ・茅葺き農家の燻煙と周辺整備（休園日を除き毎日）
- ・団体案内ガイド 190件 5,460人
- ・ボランティア自主活動 19種 798回 試行 3種 45回

⑤ その他

正規ボランティアは11回の勉強会と、栃木市内への見学会など4回を企画・実施した。また、ボランティアメッセ2005（平成17年10月8日・9日・10日、山口県萩博物館）、全国文化財集落施設協議会（平成17年10月27日・28日、岐阜県高山市飛騨民族村）にも参加し、他館のボランティアと交流した。

4 資料収集

新規の購入予算が全くない中、寄贈の申し出の中から厳選し、常設展の資料替えのための資料、常設展示の充実のための資料、博物館の目玉となるような資料、歴史的に保存すべき資料の収集に努めた。

収集実績（収集委員会付議点数）

（単位：点）

区 分	購 入	寄 贈	その他	計	18年3月末累計
標 本 資 料	0	7,961	0	7,961	214,244
図 書 資 料	0	5,021	0	5,021	154,745
映像音響資料	0	1,515	0	1,515	22,459
合 計	0	14,497	0	14,497	391,448

※この他、通年収集され来年度収蔵委員会に付議される購入の逐次刊行物702点

○主な寄贈資料（平成17年度）

長坂中形型紙（浴衣染め重要無形文化財 清水幸太郎使用）

蛭川家伝来雛道具（旗本家の雛道具）

宮川春汀筆こども達（M29・31刷り）

棒状蚊取線香（渦巻き型前身）

5 資料制作

○複製資料

資 料 名 江戸城御本丸惣地絵図（万延度御普請）

点 数 1点

説 明 江戸城は、1859年（安政6）に焼失し、その後1860年（万延元）に建て直された。そのときに製作された絵図面。作者は甲良若狭棟全。資料自体が372.0×465.0と大変大きく、展示ケースに入らないため、展示しやすいように資料自体を縮小したものを製作した。

6 資料管理・保全

(1) 資料の修理

72件（244点）の修理を行った。

【内 訳】

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標 本 資 料	71	131	図 書 資 料	1	113
絵 画	60	70	図 書	1	113
書 籍	0	0			
工 芸 品	8	8	映像音響資料	0	0
生活民俗	2	2			
典 籍	0	0	映 像	0	0
古文書類	1	51			
印刷物	0	0			

(2) 資料の収蔵

平成18年3月末日現在、496,275点(データ点数)を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本・映像音響資料	317,117点(うち分館収蔵庫収蔵分 20,672点)
図書資料	179,158点(うち分館収蔵庫収蔵分 11,894点)

(3) 資料の貸出

平成18年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、32件(212点)の資料を貸し出した。

7 常設展示

江戸東京博物館5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的に展示替えを計24回行い、常時約2,000点の資料を展示するとともに、特集展示や第2企画展を実施した。その際、展示資料の管理、温湿度等展示環境の維持を行った。さらに、常設展の賑わい・楽しさを演出したほか、伝統芸能・文化を支援する読売新聞社との事業協力により、「和のこころ―北斎と広重―」シリーズで「富嶽三十六景」「名所江戸百景」を実施し、常設展の集客をはかった。

(1) 特集展示

- ・「両国の花火」(7月26日～8月21日)
- ・「着物に見る子育ての願いと工夫」(7月26日～8月21日)
- ・「戦後60年」
 - 第1弾：占領下の東京 写真展(7月12日～10月11日)
 - 第2弾：戦後の衣・食・住(8月9日～10月11日)
 - 第3弾：戦後60年モータリゼーションの到来～国民車構想から50年～(11月29日～1月22日)
- ・「生誕80年記念 三島由紀夫『橋づくし』を読む・歩く」(10月12日～1月9日)
- ・「蔦屋重三郎」(10月24日～11月20日)
- ・「水戸徳川家の名宝～徳川光圀 黄門さまのこと～」(11月8日～12月5日)
- ・「夢 大からくり展(仮称)」(1月2日～2月5日)
- ・「浮世絵展 名所江戸百景Ⅰ～Ⅲ」(1月24日～4月9日)
- ・「徳川将軍家の学問―紅葉山文庫と昌平坂学問所」(2月28日～3月26日)

(2) 第2企画展

- ・「ある幕臣の幕末・明治―井上廉と川村帰元―」(4月15日～5月29日)
- ・「平成16年度収集新収蔵品から 市民からのおくりもの」展(7月29日～8月28日)
- ・「安政の江戸大地震150年展」(9月1日～10月16日)
- ・「日本橋・銀座・汐留～メインストリートの歴史～」展(10月21日～12月18日)
- ・「日本相撲協会設立80年記念 両国と大相撲」展(10月21日～12月18日)
- ・「富嶽三十六景」展(1月5日～1月22日)

- ・「福をよぶお正月」展（1月5日～1月22日）
- ・「東京エコ・シティー新なる水の都市ー」展（1月27日～3月5日）
- ・「昭和モダニズムとバウハウス～建築家土浦亀城を中心に～」展（3月14日～5月7日）

(3) 常設展の賑わい・楽しさの演出

1) 夏休の催し（7月23日～8月31日）

- ①「江戸・東京の芸と音～夏～」中村座前：毎土・日、16日～19日(観客数12,457人)
相撲甚句、太神楽曲芸、売り声、南京玉すだれ、バイオリン演歌等、芸と音で江戸東京を展示、演出。
- ②「歌舞伎の衣裳スペシャルトーク」「中村座前で歌舞伎鳴り物体験」体験コーナーで浴衣体験等。
- ③隅田川花火スペシャルデー（7月30日）
「花火」スペシャルトーク（183人）、夜間特別開館

2) 「えどはく寄席」9月1日から毎土・日の12:00～12:30、13:30～14:00

中村座前で、落語、新内、相撲甚句、かつぼれ、女義太夫などを実施し、伝統芸能の継承・普及と若手芸人の育成を図る。

3) 正月の催し（1月2日～1月9日）

- ①獅子舞、太神楽曲芸など正月らしい演目を揃えたえどはく正月寄席をはじめ、富くじ大会（1月2～4日）、正月遊び体験の他、3階広場で古式砲術の実演実施。

4) からくり実演（1月2日～2月5日）（「夢大からくり展」関連事業）

朝野新聞社前で、毎日3回、文字書き人形等の「からくり実演」実施。

観覧者実績

区 分	平成17年度(A)	対前年比(A/B)	平成16年度(B)
一 般	462,062人	64.2%	718,947人
学 生	37,642人	69.0%	54,508人
高校生、都外中学生	63,135人	65.2%	96,828人
65歳以上	157,456人	91.9%	171,337人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	470,163人	96.0%	489,477人
合計	1,190,458人	77.7%	1,531,097人
1日あたり観覧者数	3,878人	78.2%	4,955人

※ 本実績には、企画展及び共催展の観覧者数を含む。

8 コンピュータシステム（情報システム）の運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の来館者端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(情報システム)の管理及び運用を行った。

9 AVシステム（映像音響システム）の運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

映像ホール

上映回数	1日8回（木・金曜日9回）上映
入場者数	55,001人（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

映像ライブラリー

設置ブース数	28台（76人利用可）
映像ソフト数	399タイトル（平成18年3月31日現在）
利用回数	入場者数 84,706人（平成17年4月1日～平成18年3月31日） アクセス回数 27,750回（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

収蔵庫からのメッセージ

設置台数	5台
映像入力数	24,231枚（内8,212枚公開）（平成18年3月31日現在）

Web版収蔵庫からのメッセージ

映像入力数	166点（平成18年3月31日現在）
-------	--------------------

10 図書室の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

図書室利用状況

図書資料数	167,264点（平成18年3月31日現在）
利用者数	31,213人（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

11 野外収蔵（分館「江戸東京たてもの園」）

平成18年3月31日現在、27棟を公開している。なお移築対象建造物の復元工事は休止している。

(1) 入園者実績

区分	平成17年度(A)	対前年比(A/B)	平成16年度(B)
一般	117,924人	99.9%	118,023人
大学生・専門学校生	11,813人	95.8%	12,334人
高校生、都外中学生	3,021人	91.4%	3,305人
65歳以上	30,573人	110.3%	27,714人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、教育活動等)	102,197人	106.6%	95,873人
合計	265,528人	103.2%	257,249人
1日あたり観覧者数	857人	103.2%	830人

(2) 特別展

今年度は、当園の普及事業と連動するものや世相を反映する特別展など、3本開催した。

①「ドラえもんとはらっぱ ―土管はワンダーランドの入りロー―」

期 間 平成16年12月7日（火）～平成17年6月26日（日）

内 容 マンガ「ドラえもん」に描かれたはらっぱ（空き地）の世界を紹介し、園内の「はらっぱ」で遊ぶひみつ道具づくりや、「のび太」の街や家を再現。

入園者 166、356人

②「東京前史―旧武蔵野郷土館の考古資料」展

期 間 平成17年7月12日（火）～11月6日（日）

内 容 たてもの園の前身である旧武蔵野郷土館の考古資料から東京以前の姿を紹介。

入園者 73、965人

③「できゆくタワーの足もとで―昭和30年代の暮らし」展

期 間 平成17年11月23日（水）～平成18年3月26日（日）

内 容 昭和33年の町工場の家族の暮らしの様子を、冬の夜に設定し間取りごとに展示。

(3) 下町通り伝統芸「たてもの園「技」のフェスティバル

―やってみよう、みてみよう。職人の技、大工の技―

今年度は、建物や伝統工芸をつくる大工や職人の技に注目して、実演や体験講座を園内各所で実施した。また建物をより詳しく紹介する企画として、普段公開していない商店の2階、3階や地下室、納戸なども案内する「たてもの特別公開 ―すべて見せます！ 屋根裏から地下室まで―」をボランティアの協力によって実施した。

・期 間 平成17年11月12日（土）、13日（日）の2日間

・会 場 江戸東京たてもの園 全域での展開

・内 容 伝統工芸の実演11種、伝統工芸の体験11講座

建造物特別公開 26棟、特別園内ガイドツアー 4コース

和傘・文具・駄菓子の販売

・参加者数 2,984人

(4) 伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

・期 間 平成17年4月～18年3月のうち24日間

・会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・内 容 籐工芸、有職畳、琴、手描き江戸錦帆、東京手描き友禅、寄木、組紐、木版画、江戸指物、東京桐箆笥、江戸木彫刻、漆工芸、東京仏壇、

陶芸、座敷簀、バイスケ、押し絵羽子板、手描き提灯、金網、和裁、
村山大島紬

・観覧者数 当日入園者

(5) 情景再現事業

「七夕折り紙教室」「正月お飾りづくり」2回の体験型情景再現を開催し、延べ199人の参加があった。また今年度は情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日」、夏「下町夕涼み」、冬「はらっぱ大会」の各イベントを行った。（秋のイベントは例年開催している下町通り伝統芸「たてもの園フェスティバル」）。

①七夕イベント

茅葺民家での折り紙づくりと短冊に願い事を書く。ワークショップ「橋を架けて!天の川」4回

・期 間 平成17年6月25日（土）、26日（日）
・会 場 江戸東京たてもの園 吉野家（農家）
・指 導 たてもの園ボランティア、職員
・参加者数 118人

②クリスマス・リース&正月飾りづくり

園内の樹木を使ってクリスマス・リースとワラを使った正月飾りを作る体験講座。

・期 間 平成17年12月10日（土）、11日（日）の2日間、4回
・会 場 江戸東京たてもの園 吉野家
・講 師 たてもの園ボランティア、職員
・参加者数 81人

③「子どもの日イベント

たてもの園えどまる王国化計画ー燃えろ!我らの国王選挙戦」

買い物ゲーム、泥団子作り、チャンバラ、兜・風車づくりの各会場で、国王立候補者が選挙活動を行い、有権者の子どもたちは一番面白かったものに投票。

・期 間 平成17年5月3日（火・祝）、4日（水・祝）5日（木・祝）の3日間
・会 場 江戸東京たてもの園 西ゾーン、東ゾーン
・参加者数 12,719人

④夜間開園「下町夕涼み」

盆踊り、寄席、映画野外上映を行い、また、建物を使用して夏の夕涼みの風情を再現。

・期 間 平成17年7月30日（土）、31日（日）の2日間
・会 場 江戸東京たてもの園全域
・参加者数 10,759人（当日来園者）

⑤「はらっぱ大会 BACK TO THE 30'S」

チャンバラ大会、ベーゴマ大会や特別展での昭和30年代再現パフォーマンス。

- ・期 間 平成17年2月11日（土・祝）、12日（日）の2日間
- ・会 場 江戸東京たてももの園全域
- ・参加者数 4,710人（当日来園者）

(6) 学校連携事業

「藍の育成と藍染め体験」「大根の栽培と大根干し」「昔のくらし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教員研修」「教員初任者研修」「校外学習」「職場体験」を実施した。

①藍染め体験

建染めを行い、染色体験をした。

参加校：4校

②大根の栽培と大根干し

間引きなどの大根の世話と大根干しを体験し、保存食について学習した。

参加校：1校

③昔のくらし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、雨戸の開け閉てなどを体験するほか、昔の道具探しなどを実施した。

参加校：31校

④子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数：35人

⑤教員研修

小金井市、国分寺市、小平市、西東京市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数：92人

⑥教員初任者研修

小金井市、小平市の教員初任者に対して、3日間の学校外活動（ボランティア活動）として、当園ボランティア活動に体験参加した。

参加人数：22人

⑦校外学習

都立高校生がボランティア活動及び体験学習を行った。

参加人数：56人

中学生が各自テーマに沿った調べ学習を行った。

参加人数：21名

⑧職場体験・職場訪問

中学生が職場を訪れ体験やインタビュー等により、仕事について学ぶ機会を与えた。

参加人数：16人

(7) その他の事業

①「朝顔市・ほおずき市」

早朝開園により朝顔・ほおずき・つりしのぶの販売。農協による野菜・苗木の販売。「朝顔図譜」の展示等。

- ・期 間 平成17年7月9日（土）、10日（日）
- ・入園者 3、319人

②「夜間開園」

20時30分まで開園。映画の野外上映会などを実施。

- ・期 間 平成17年8月6日（土）、7日（日）、13日（土）、14日（日）
- ・入園者 4、094人

③「たてものとのりもの」

ボンネットバスの運行、人力車やリntaxの乗車体験。懐かしい車の展示など。

- ・期 間 平成17年9月18日（日）、19日（月・祝）
- ・入館者 5、431人

④「復活！大運動会」

大玉転がし、どじょうすくい、パン食い競争など懐かしい種目に老若男女が参加。

- ・期 間 平成17年10月10日（月・祝）*10月9日は雨天中止
- ・入館者 595人

⑤「正月遊び 集う街角には福来る」

羽根つき、ミニ凧あげ、福笑いなどの正月遊びや書き初め、餅つき体験、落語や漫才などの演芸。

- ・期 間 平成18年1月8日（日）、9日（月・祝）
- ・入園者 3、786人

⑥「春先キモノ日和 キモノの手ほどき、キモノの着こなし」

昔キモノ体験・販売、ふろしき入門講座などの和の装いの紹介と、落語、邦楽、お茶会など和装で楽しめる催しを企画。

・期 間 平成18年3月25日（土）、26日（日）

入園者 6、698人

13 調査・研究

都市歴史研究室は、江戸東京の研究センターとして、以下に掲げるグランドテーマに基づき、歴史・生活文化・都市構造等の分野から調査研究を行い、博物館活動の基礎を支える。

- (1) 都市江戸東京の総合研究
- (2) 館蔵資料の学術的調査研究
- (3) 江戸東京の一定地域の総合研究
- (4) 博物館機能に関する研究

成果は常設・企画展示のほか、ミュージアムセミナーや体験教室などの教育普及事業に反映し、リピーターの拡大とクオリティの向上を図り、『研究報告』『調査報告書』『史料叢書』といった刊行物を通し、江戸東京の歴史、生活文化、都市構造に関する都民の知的要望に応える。また、次代の博物館を担う人材育成のため学芸員資格取得のための博物館実習を受け入れる。さらに博物館と学校との連携の一環として、総合的学習の訪問学習を受け入れ、10年後、20年後のリピーターを確保する。

(1) 課題研究（個人単位の研究）

グランドテーマにもとづき、研究室員一人一人が歴史、生活文化、都市構造の3分野から専門的なテーマを設定し、研究を進める。随時、研究会で研究報告を行い、成果はミュージアムセミナー、体験教室を通して都民に直接示すほか、『研究報告』および『調査報告書』等出版物を通して広く公開する。

①課題研究（小澤）「浮世絵と情報文化」〈継続〉

この研究成果は、企画展「江戸の学び」展に反映された。

②課題研究（松尾）「江戸城内の儀礼と生活」〈継続〉

③課題研究（我妻）「江戸東京の名所絵」〈継続〉

この研究成果をもとに、我妻が担当となって第2企画展「日本橋・銀座・汐留 ～メインストリートの歴史～」(平成17年10月28日～12月18日)を実施した。

④課題研究（米山）「江戸東京の「建築－都市」史研究」〈継続〉

⑤課題研究（石山）「江戸における庶民教育の諸相」〈継続〉

⑥課題研究（高山）「江戸の町の制度に関する研究」

⑦課題研究（田原）「江戸城の保守・補修に関する研究」〈継続〉

(2) 系列共同研究（団体研究）

グランドテーマにもとづき、研究室員を中心に館職員や外部の研究者や機関と共同して、

歴史、生活文化、都市構造の3分野から総合的なテーマを設定し、研究に取り組む。研究成果は『研究報告』への論文掲載、『調査報告書』の作成、シンポジウムの開催、常設展示への活用、企画展示の開催など都民に分かりやすい形で公開する。

①歴史研究系列

共同研究「江戸と江戸城」

(松尾、田原、落合、近松、石山、高山、我妻、米山、小澤)

②生活文化研究系列

共同研究「情報文化と教育－江戸の教育」

(小澤、石山、我妻、市川、松井、高山、田原、米山、松尾)

この研究成果にもとづき、市川・石山が企画展「江戸の学び」展(平成18年2月18日～同年3月26日まで開催)を実施した。

③都市構造研究系列

共同研究「江戸東京の都市構造－安政の大地震」

(米山、高山、山崎、新田、石山、田原、我妻、松尾、小澤)

この研究成果をもとに、第2企画展「安政の江戸大地震150年」展(平成17年7月29日～8月28日)を開催した。

(3) 基礎研究

江戸東京の都市歴史や生活文化に関する基礎的な調査を行うとともに、館蔵資料について下記の基礎的・学術的な調査・分析を行った。

①基礎研究「赤木清士氏収集産業技術史関係資料の調査研究」(小澤・松井)

文科省特定領域研究「江戸のモノづくり」の一環として実施。

②基礎研究「旧幕臣川村清雄関係資料の総合研究」(小澤、落合、市川、原)

③基礎研究「幕臣井上廉の研究」(石山、田原、落合)

④基礎研究「勝海舟関係資料に関する研究」(田原、落合、近松)

⑤基礎研究「石井良助氏収集資料の総合的調査研究」(高山、石山、田原、近松、落合)

(4) シンポジウムの開催

平成17年度テーマは「日本橋・銀座・汐留～メインストリートの歴史～」。同シンポジウムにおいて、江戸東京のメインストリートとして親しまれてきた「日本橋－銀座－汐留」という道の魅力や、そこに沿った地域の歴史や文化を報告した。

・開催日 平成17年11月19日(土)

・会場 江戸東京博物館 1階ホール

・参加者 245名

・内容 はじめに 小澤 弘(江戸東京博物館教授)

基調講演 竹内 誠

第1部 [江戸の職人町]

報告1 田原 昇「町の意味づけの変遷」

報告2 伊藤 毅(東京大学教授)「町割りの形成」

第2部 [繁華街と近代建築]

報告3 米山 勇「モダン都市の街と建物」

報告4 初田 亨（工学院大学教授）『『繁華街』の形成と発展』

第3部 [最先端の観光都市へ]

報告5 菅原定三（TS建築史研究室）「ライオンをめぐる人びと」

報告6 三枝 進（銀座文化史学会会長）「銀ブラ文化に未来はあるか」

(5) 江戸東京の特定地域に関する総合研究

総合共同研究「モノづくりと観光の街 ー日本橋・銀座・汐留」

(6) 展示事業への参画

①常設展

平成16年度まで学芸課展示係を中心に行われてきた常設展示の展示替え業務の実施体制変更にともない、都市歴史研究室の学芸員・専門研究員も常設展の展示替え業務へ参画するようになった。また常設展示室内で実施された下記の第2企画展へも参画した。

- ・「安政の江戸大地震150年」展 平成17年9月1日～10月16日
担当 高山 慶子
- ・「日本橋・銀座・汐留～メインストリートの歴史～」 平成17年10月28日～12月18日
担当 我妻直美
- ・「東京エコ・シティ ー新たなる水の都市へー」展 平成18年1月27日～3月5日
担当 米山 勇

②企画展

- ・「美しき日本」展における関連講座（江戸博カルチャー）の実施
「日本全国・名建築の旅」（平成17年9月19日） 講師 米山 勇
- ・「山内一豊とその妻」展における解説の執筆 担当 田原 昇
- ・「江戸の学び」展の企画立案・実施 担当 石山秀和

(7) 書籍の編集・刊行

①『史料叢書』の刊行

館蔵の文献史料の情報を広く公表するために『勝海舟関係資料』と『史料叢書』8の編集・刊行を行った。

- ・名 称 『江戸東京博物館史料叢書 勝海舟関係資料 勝海舟日記（四）』
- ・発行年月日 平成17年3月28日
- ・発行部数 700部

②『調査報告書』の刊行

- ・名 称 『幕臣井上貫流左衛門家文書の世界』
- ・発行年月日 平成18年3月28日

・発行部数 700部

③『研究報告』の刊行

江戸東京博物館での研究成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館研究報告』第12号を刊行した。

・構成

小澤弘「江戸城と丸の内」

松尾美恵子「江戸城門の内と外」・「『雁之間』詰大名の江戸勤め」

原史彦「写された江戸城」

米山勇「近代都市・丸の内」

金子未佳「文学にかかれた丸の内（明治・大正）」

山崎尚之「文学にかかれた丸の内（昭和）」

松井かおる「ジャズと丸の内」

田原 昇「江戸城内の運営と「五役」

我妻直美「『江戸四時勝景図巻』について」

・発行年月日 平成18年3月28日

・発行部数 1,500部

(8) 学芸員実習の受け入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

実習受け入れを通知した機関 252

申込者数 36名

受入者数 20名

期 間 8月16日(月)～8月27日(金)

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月16日 (月)	午前	【オリエンテーション】 館長挨拶・概要説明・館内外動線 及び主要施設案内・自己紹介	講義・見学	都市歴
		午後	【管理施設】 管理施設案内	講義・見学	管理係
			【企画展示】 企画展示ができるまで	講義・見学	展示営業係
2	8月17日 (火)	午前	【図書室の運営】 図書室・図書資料の概要と見学	講義・見学	資料図書係
		午後	【常設展示(1)】 常設展示の概念・見方	講義	展示営業係
			【常設展示(2)】 常設展示の見学	見学	
			【広報活動】 広報活動の概要、友の会概要	講義	普及係

実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
3 8月18日 (水)	午前	【営業活動】 営業活動について	講義・見学	展示営業係
	午後	【映像施設の運営】 映像施設の概要と見学	講義・見学	
4 8月19日 (木)	午前	【資料の保管・管理】 資料の保管の方法（クリーニング 実務など）、管理システム	講義・実習 見学	資料図書係
	午後	【ボランティア活動】 ボランティア解説体験（受け手側）	見学体験	
5 8月20日 (金)	午前	【ボランティア活動】 博物館ボランティアについて	講義	展示営業係
	午後	【たてもの園（於本館）】 園概要説明、移築復元の講義	講義	
6 8月23日 (月)	午前	【たてもの園（於：たてもの園）】 建物現場見学	見学	たてもの園
	午後	【たてもの園（於：たてもの園）】 園内業務実習、自由見学	実習・見学	
7 8月24日 (火)	午前	【たてもの園（於：たてもの園）】 園内業務実習、自由見学	実習・見学	たてもの園
	午後	【たてもの園（於：たてもの園）】 園内業務実習、自由見学	実習・見学	
8 8月25日 (水)	午前	【教育事業】 教育事業の概要	講義	実習PT
	午後	【常設展示】 常設展示替え作業の見学・解説	見学	
9 8月26日 (木)	午前	【第2週目オリエンテーション】 2週目概要説明・館長挨拶	講義	都市歴
	午後	【資料の収集・取扱い】 標本資料の取扱い（軸・卷子） 資料カードの作成 資料写真撮影	実習	
10 8月27日 (金)	午前	【展示実習】 会場設営	実習	展示営業係 実習PT
	午後	【展示実習】 展示テーマ検討		
11 8月28日 (土)	午前	【展示実習】 キャプション作成・展示作業	実習	展示営業係 実習PT
	午後	【展示実習】 展示作業		
12 8月29日 (日)	午前	【展示実習】 批評会	実習	展示営業係 実習PT
	午後	【展示実習】 批評会		
13 8月30日 (月)	午前	【広報実習】 広報計画作業	実習	普及係 実習PT
	午後	【広報実習】 発表会		
14 9月1日 (火)	午前	【学芸員実習のまとめ】 実習総括（室長・副館長）	講義	都市歴
	午後	【学芸員実習のまとめ】 実習総括（室長・副館長）		

(9) その他の研修受入

① ドイツ日本文化研修生2名の受入

Sebastian Leliveldt

Jola Hagel

受入期間 9月12日～9月15日

② ボストン美術館学芸員の受入

Lachele Saunders

受入期間 10月～12月

(10) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応のため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

①訪問学習の実施

実績

学芸員 博学ボランティア（7名）－歴史学習対応

展示係学芸員－職場訪問対応

参加人数 850人

参加学校数 96校（中学校 92 高等学校 4）

14 広報・出版

(1) 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館 案内パンフレット	日本語版 700,000部
		英語版 60,000部
		中国語版 10,000部
	ハングル版 10,000部	
	子ども向けガイドブック	88,000部
	江戸東京博物館勧誘チラシ	50,000部
周辺案内	両国・浅草エリアマップ	日本語版 60,000部 英語版 30,000部
定期刊行物	江戸東京博物館要覧（03年版）	年1回発行 12,500部
	江戸東京博物館催し物 年間スケジュール	年1回発行 100,000部
	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
	今月の見どころ	年12回発行 延240,000部
取材対応		671件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 4,494,534件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 (17年3月現在) 4,014通
企画品の制作	正月プレゼント用 オリジナル双六台紙	1,000枚
広告の掲載	年鑑誌「修学旅行のすべて」 月刊誌「修学旅行」 すみだTOWN情報紙 「博物館研究」	年1回掲載 年1回掲載 年12回掲載 年12回掲載

(2) 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	60,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延 80,000部

15 地域子ども教室推進事業

(1) 本館

平成16年度より文部科学省では、放課後や休日に、地域の大人の協力を得て、「子どもの居所」をつくり、スポーツや文化活動など多彩な活動が展開されるよう、家庭、地域、学校が一体となって取り組む「子どもの居場所づくり新プラン」を実施している。

江戸東京博物館においても、財団法人日本博物館協会を通じてこの取り組みに参加した。特に、常設展示室体験コーナーにおいては、平日の午後、授業終了後、地域の子どもの居場所となるような取り組みである「放課後の居場所づくり」、高齢者と子どもたちを結ぶ「東京昔がたりの会」を実施した。

また、博物館周辺のまちあるきである「両国まちの居場所づくり」や、中学生の職業体験の場である「博物館のお仕事体験」、都市部の子ども達に山林に親しんでもらう機会として「森の名人と竹細工づくり」を実施した。

- ・期 間 平成17年6月1日(土)～平成18年3月31日(金)
- ・会 場 江戸東京博物館 常設展示室 学習室 会議室 博物館周辺
- ・受 講 料 なし～1,200円
- ・参加者数 延べ1,761人

(2) 分館

①江戸東京寺子屋実行委員会「武蔵野えどまる団」

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と実行委員会を組織し、〈子どもの居場所〉を作る活動を展開した。

内 容

- 指令7 平成17年 4月 サクラー勇者たちの戦いー
- 指令8 5月 たてもの園えどまる王国
ー燃えろ！われらの国王選挙戦ー
- 指令9 6月 雨でも楽しく遊ぼう！ー結成ーレインレンジャーー
- 指令10 7月 えどまる団地3号棟計画
- 指令11 8月 宿題撃破大作戦！ー最大の敵をやっつけろー
- 指令12 9月 風雲えどまる城〈夏の陣〉
ーぼくたちの夏はまだ終わらないー
- 指令13 10月 復活！！秋の大運動会

指令 14	11月	さあ秋だ、落ち葉のプールでひと泳ぎ
指令 15	12月	オッス！若竹塾
指令 16	平成 18 年 1月	正月ボケに缶っ！喝！
指令 17	2月	風雲えどまる城〈冬の陣〉
指令 18	3月	えどまる本舗－商人の血

16 高齢者元気プロジェクト

高齢化社会における博物館の新たな取り組みとして、平成 16 年度より 2 年間にわたり、東京都老人総合研究所などと「博物館資源（資料・人・場）」を活用して高齢者の心身の健康増進を目指す共同研究事業「高齢者げんきプロジェクト」を推進し、「博物館資源」を活用した介護予防プログラム「地図づくりプログラム」を作成した。

また、博物館関係者、福祉施設関係者、行政職員、ボランティアなどさまざまな分野・職種を対象としたシンポジウムを開催した。

(1) 「地図づくりプログラム」作成のプログラム実施

- ・期 間 平成 17 年 8 月～1 月の 2 週間に 1 回実施（計 10 回）、
1 回の実施時間 約 1 時間
- ・参加者 墨田区在住の後期高齢者 23 名
(男性 12・女性 11 名／75 歳～84 歳・平均 79 歳)
- ・グループ構成 4～5 人×5 グループ

事前説明会	8/17、18、8/24、25
事前調査	8/31、9/1、9/7、8
直前調査、第 1 回プログラム	9/14、15、9/21、22
第 2 回	9/28、29、10/5、6
第 3 回	10/12、13、10/19、20、
第 4 回	10/26、27、11/2、3
第 5 回	11/9、10、11/16、17
第 6 回、直後調査	11/23、24、11/30、12/1
茶話会、事後調査、アンケート	12/7、12/8、12/14、12/15
全体会	1/16

(2) 国際シンポジウム「博物館で高齢者のげんきをつくる」開催

東京新聞後援、平成 17 年度文化ボランティア推進モデル委嘱事業

- ・当日参加者数：260 名
- プレス 8 社（日本経済新聞、西日本新聞）、NHK など

17 両国協力会等による地域活性化の推進

両国協力会は、両国を地盤とする地元企業、施設が、両国の活性化と未来の両国を考え、さまざまな活動を展開していく自主的な任意団体である。両国の魅力を多くの人に伝えるため、平成 17 年度は、江戸東京博物館 3 F ひろばでの「両国にぎわい春祭り」開催と周辺のお食事処を掲載した「両国にぎわいマップ」を制作した。

(1) 両国協力会構成団体

東京都江戸東京博物館、財団法人日本相撲協会、株式会社パイオニア、ザ・ホテルベルグランド、有限会社東新 両国アクアハウス江戸遊、財団法人東京都公園協会事業部水辺事業課 東京水辺ライン、東日本旅客鉄道株式会社 両国駅、東京都交通局電車部上野御徒町駅務管理所上野御徒町駅務区 両国駅、国技館サービス株式会社、ユアサ・フナショク株式会社 両国パールホテル、株式会社第一ホテル両国

(2) 第 3 回両国にぎわい祭り

- ・期 日 平成 17 年 4 月 29 日(金)～ 5 月 1 日(日)
- ・会 場 江戸東京博物館 3 階ひろば
- ・主 催 両国にぎわい祭り実行委員会、両国協力会
- ・後 援 墨田区、墨田区文化観光協会
- ・協 賛 東京東信用金庫、ライオン協
- ・内 容 地元商店等によるバザー
ちゃんこ鍋
大道芸、太鼓演奏、両国ぶらり散歩ツアーなど
- ・入場者 約 35,000 人

(3) 両国にぎわいマップ制作

- ・制 作 両国協力会
- ・企画発行 江戸東京博物館
- ・発行日 平成 17 年 5 月
- ・発行部数 100,000 部
- ・掲載店数 82 店舗（うち写真入り 18 店舗）
- ・配布場所 JR 両国駅・国技館・江戸東京博物館をはじめとする両国協力会各社とマップ掲載店

(4) たてもの園協力会

当園と公益法人小金井市商工会が共同出資して、ボランティアや地元商店の協力により、催事や土曜日曜祝日に飲食のサービスや物販の販売を行った。

(参考) 開館からの観覧者数等の実績

(単位:人)

観 覧 者 数	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	累計
本 館	3,087,065	2,042,040	1,599,808	1,465,362	1,199,943	1,317,964	1,217,624	1,173,473	1,463,642	1,499,051	1,586,603	1,531,097	1,190,458	17,652,575
常設展示	2,647,714	1,734,764	1,349,527	1,165,648	989,394	951,756	850,151	835,233	889,188	868,001	1,041,436	860,258	790,066	14,973,136
企画展示	439,351	307,276	250,281	299,714	210,549	366,208	367,473	338,240	574,454	631,050	545,167	670,839	400,392	5,400,994
分館(たてもの園)	245,401	161,142	166,732	202,559	169,941	158,234	158,981	169,486	257,729	272,503	360,094	257,249	265,528	2,845,579
合計	3,332,466	2,203,182	1,766,540	1,667,921	1,369,884	1,476,198	1,376,605	1,342,959	1,721,371	1,771,554	1,946,697	1,788,346	1,455,986	19,975,377